

# 水稻生育情報 (No.3)

平成27年6月30日  
県西農林事務所 経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター)

## 【生育概況】

気温は6月中旬まで平年並か高く、6月下旬は年よりもやや低くなりました。降水量は、5月下旬までは平年よりも少なくなりましたが、6月は平年並み～多くなりました。

管内のコシヒカリの生育状況を下表のとおりで、草丈は平年並み～低く、茎数は平年並み～少なく、葉色は平年並みとなっています。

表1 水稻定点調査結果(6月30日時点)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色	
					葉色版	SPAD値
下館市	5月7日	57	71.0	587	3.8	34.8
一本松	(5月2日)	(65)	(67.8)	(602)	(3.9)	(32.9)
下妻市	5月2日	42	68.6	468	4.3	34.4
加養	(5月2日)	(43)	(68.3)	(475)	(4.0)	(34.2)
桜川市	5月17日	61	53.1	490	3.9	32.6
元岩瀬	(5月14日)	(59)	(65.1)	(463)	(4.1)	(35.6)
桜川市	5月7日	44	64.2	385	4.5	37.8
真壁町飯塚	(5月7日)	(58)	(68.1)	(486)	(3.9)	(35.1)

( )内は平成22～26年(5カ年平均値) ※桜川市真壁町飯塚は過去2カ年の平均値

## 【今後の管理のポイント】

### ● 中干し後の水管理～間断かん水で根の活力維持～

中干しを行った稲の根は、畑作物の根に似た形質となり、常時湛水で管理すると、根腐れなどが発生してしまいます。

間断かん水を行うことで、根腐れ防止や根の活力が維持することができます。

右図を参考に間断かん水を行って下さい。入水の目安は、砂質の土壌は田面に触れると湿り気を感じる程度で、粘質の土壌は水が付着する程度です。

また、出穂30日後まで間断かん水を行い、早期落水は行わないで下さい。早期落水は胴割れ米や登熟不良を助長し、品質を落とす要因となります。

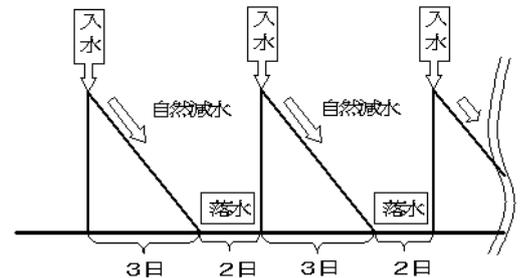


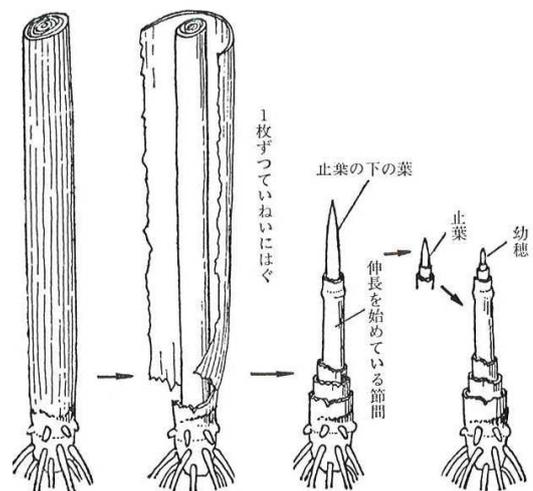
図1 間断かん水の一例

## 2 追肥時期について

「コシヒカリ」の適正な追肥時期は出穂15日～18日前となります。幼穂長が10mmになった時期が出穂18日前、30mmになった時期が出穂15日前となります。

幼穂を調べるには生育が中庸な株の主稈を使用します。異なる株から5本程度の幼穂長を計測し平均値をとります。右図を参照に行ってください。

追肥量は窒素成分で1～2kg/10aです。ただし、草丈が80cm以上や葉色が4以上の時は倒伏の恐れがあるので、追肥は避けるようにしましょう。



幼穂長の調べ方